

新型コロナウイルス感染者発生と対応について

2020年11月26日（木）、草加センター（埼玉県草加市青柳3-30-15）に勤務する職員1名が、新型コロナウイルス陽性反応であることが判明しました。

パルシステム埼玉では組合員の皆様と事業所勤務者の安全を最優先に考え、所轄保健所の確認のもと、11月26日（木）に当該センターの事務所、機材等の消毒作業等、必要な対応を行いました。組合員の皆様と、勤務者の安全が確保できると判断し、業務は通常通り行っております。

今後も引き続き、所轄保健所をはじめ、関係機関と連携を図りながら、安全確保と感染の拡大防止を最優先に必要な対応を進めてまいります。何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

1. 職員の行動履歴について

11月17日（火）まで当該センターで営業業務に従事していました。勤務中は、マスクの着用、アルコール消毒液で手指の消毒を適宜行っていました。

11月17日（火） 通常勤務

11月18日（水） 出勤時の発熱のため早退、以降は出勤しておりません

11月24日（火） 体調不良が続いたため医療機関によるPCR検査を実施

11月26日（木） 検査の結果、陽性が判明しました

2. 当生協の対応について

- (1) 職員は毎日、出勤前および出勤時の検温と報告、マスクの着用、手指のアルコール消毒を適宜行い、記録をしています。
- (2) 事務所にはパネルを設置し、飛沫感染防止対策を行っています。また、適宜、アルコールによる机等の消毒と、窓を開放しての換気を行っています。
- (3) 所轄保健所の確認のもと、センターの事務所、作業場、機材等の消毒作業を行いました。

2020年11月27日
生活協同組合パルシステム埼玉